

時習 十一月号

十一月 一日

十一月、深まり行く秋！



一気に気温が下がって、季節が、秋を通り越してしまったように感じます。去年の今頃は、インフルエンザA型の流行で出席停止、学級閉鎖で学校は危機的状況でした。

この気温の下がり方で、これから先、風邪やインフルエンザが心配されます。去年を思い出して、再度以下のことに気をつけさせていきます。

- ・ 手洗いの励行（病気予防の基本）
- ・ うがい（外からもどったとき）
- ・ 咳エチケット（マスクの着用）

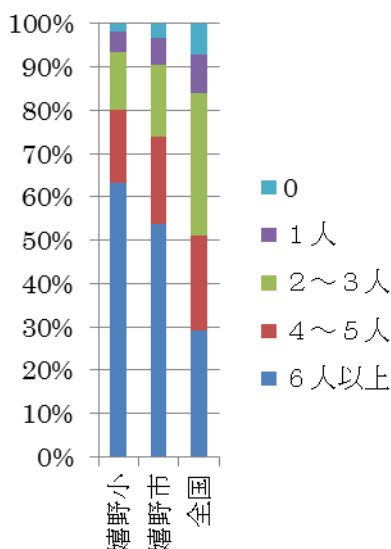
うがい茶の贈呈式

嬉野茶業青年部の方々

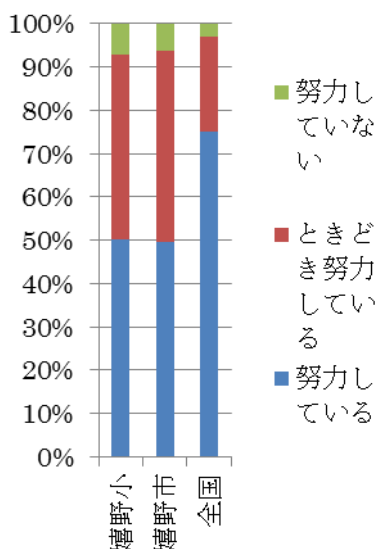


から「うがい茶」を沢山いただきました。夏の間に、いっぱい太陽の光を受け、カテキンが多く含まれた茶葉を加工してできたものです。嬉野小学校は、ペットボトルに溶かして、すぐうがいができる

相談できる友達は何人いますか。



もっとよい成績になろうと努力しているか。



生活アンケートから見えてくること

る粉茶をいただきました。本校の一年生から六年生までが嬉野町の小学校の代表としていただきました。

六年三組の川原くんが代表して、御礼のあいさつを上手に行いました。

「予防の習慣を身につけて、風邪にかからないようにします。」ということを立派に伝えることができました。

全国との比較をすると、生活アンケートは概ねよい状況ですが、質問6の「よい成績を取ろうと、もっと勉強ができるようになりたいと努力していますか。」の項目で大きな差がありました。

友達を大事にすることも大切です。それと同じように「勉強すること」は、小学校の大きな目的です。学校と家庭でさらに連携を深め勉強することの大切さを指導していきたいと考えています

ご協力をお願いします。

第二回地域連携協議会開催

急に気温が下がり、寒



い中、十月二十六日（火）十九時三十分から二十一時まで、本校で開催しました。これまでの学校の説明や本校職員の一学期の学校経営・教育活動の評価結果などを報告させていただきました。その後各分会（地域人材活用部・安心安全部会・地域PTA行事部会）に分かれて、嬉野小学校の子どものよりよい成長を願って話し合いました。

それぞれの社会体育指導者の皆様・元PTA会長様・区長様・学校評議員様・放課後学

童指導の方、そして市教委・事務所・教育長様に参加いただきました。

その中で、部活動のことや「自転車の右側通行の危険について」「防犯ブザーの携帯について」「下校時の横断歩道の渡り方について」指摘がなされました。皆様に守られている嬉野小学校を実感しました。ありがとうございました。

第三回を二月に予定しています。

図書祭りを実施(十月二十七日)

「鶴の恩返し」(児童文化部演劇)

四時間目の時間に、全校体育



館で児童文化部による「鶴の恩返し」の劇を鑑賞しました。

P T A児童文化部の皆さんによる演劇でした。民話の語り口調で、優しい温かい演技でした。

去年は、インフルエンザのために実施できなかったのですが、今年は、しっかり演じてもらいました。ありがとうございました。

(多読賞表彰)

たくさんの方々が、本を読んでくれています。一学期の多読賞の友だちを紹介します。

第一位 六年古賀さん(二〇三冊)

第二位 三年福田くん(一八九冊)

第三位 四年古賀さん(一八六冊)

第四位 五年百田さん(一五四冊)

第五位 六年青木さん(一五〇冊)

第五位 一年中島さん(一五〇冊)

読書は、「心の栄養」と言われます。豊かな心、くじけない心、優しい心などを学び取って欲しいものです。

深まり行く「読書の秋」でもあります。しっかりと本を読んで欲しいものです。

親子読書や家読にチャレンジしてみてください。



親子読書や家読にチャレンジしてみてください。

佐賀県教育週間。

たくましく健やかな子どもを育成するため、県民が教育についての思いを共有し、認識を深め、県民こぞって教育の充実と発展に取り組み県民運動を展開することをねらいとして、十一月一日から七日までの一週間を「佐賀県教育週間」と設定しています。

この期間中に県、市町、関係機関・団体等は、教育に関する様々な行事を実施し、多く

の県民の参加を得て、教育についてみんなで考える契機としています。

(※「佐賀県教育週間」は、平成十三年度に制定しています。)

嬉野小学校では、芸術や文化そして講演会等を計画しています。例えば、学童美術展の審査会や地球発見隊(青年海外協力隊)との他国の文化を知る学習、芸術劇場、授業参観、「P T A学年部による教育講演会」(十一月十九日)などを計画しています。みんなで教育を考える機会となればと思っています。

九州P T A熊本大会

十月三十日・三十一日と熊本県で開催された大会にP T A会長並びに副会長、部長・副部长・校長の七人で参加してきました。

全体会に八〇〇〇人を越える人が集まっています。分科会は第七の「必要な情報・生きた情報を伝える広報活動」に参加しました。

一、学校・家庭での問題提起と解決に向けた広報活動

二、確かな情報を正しくリアルタイムに伝える広報活動

佐賀県から、大浦中学校が発表され、活発な意見交流がなされました。どの学校でも悩みながらのP T A活動でした。しかし、今こそ、P T A活動が大切だと認識しました。